

# 芦田川流域治水協議会について



農林水産省  
林野庁



森林研究・整備機構



国土交通省

芦田川流域治水協議会 事務局  
(福山河川国道事務所)



国土を**整**え、全力で**備**える  
国土交通省  
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

令和5年6月

# あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換

- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築する必要がある
- 河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者※により流域全体で行う「流域治水」へ転換する※国・都道府県・市町村・企業・住民等

**課題**

- ・気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築する必要
- ・行政が行う防災対策を国民にわかりやすく示すことが必要

**対応**

- ・河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換
- ・令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の一級水系でも、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像「流域治水プロジェクト」を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速【全国の1級水系を対象に、夏頃までに中間とりまとめを行い、令和2年度中にプロジェクトを策定】

## 「流域治水」への転換

- ・「流域治水」へ転換し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減・早期復旧・復興のための対策を総合的かつ多層的に推進
- 【これらの取組を円滑に進めるため、河川関連法制の見直しなど必要な施策を速やかに措置】

### ①氾濫をできるだけ防ぐ

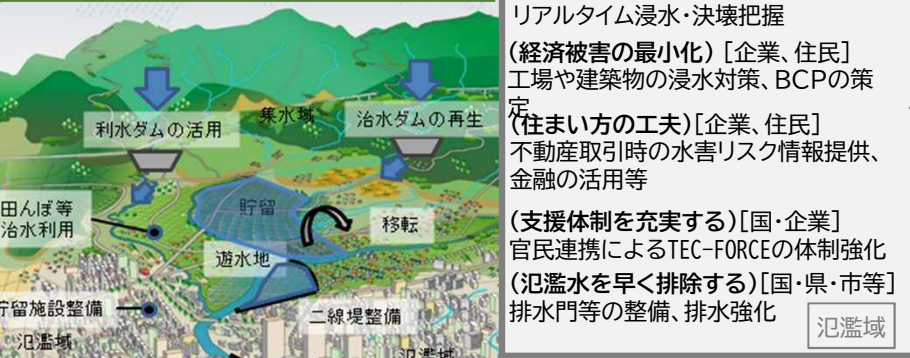
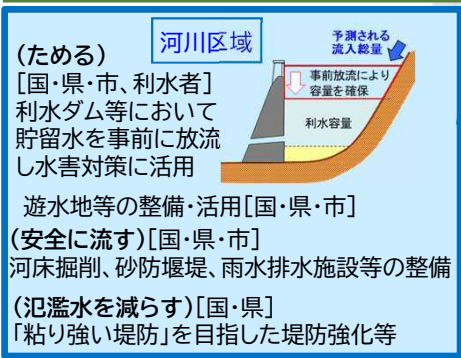
(ためる、しみこませる) [県・市、企業、住民]  
雨水貯留浸透施設の整備、田んぼやため池等の治水利用  
※グリーンインフラ関係施策と併せて推進

### ②被害対象を減少させる

(よりリスクの低いエリアへ誘導) 土地利用規制、移転促進、金融による誘導の検討等 [市、企業、住民]  
(被害範囲を減らす) 二線堤等の整備 [市]

### ③被害の軽減・早期復旧・復興

(土地のリスク情報の充実) [国・県] 水災害リスク情報の空白地帯解消等  
(避難体制を強化する) [国・県・市] 河川水位等の長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握  
(経済被害の最小化) [企業、住民] 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定  
(住まい方の工夫) [企業、住民] 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融の活用等  
(支援体制を充実する) [国・企業] 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化  
(氾濫水を早く排除する) [国・県・市等] 排水門等の整備、排水強化



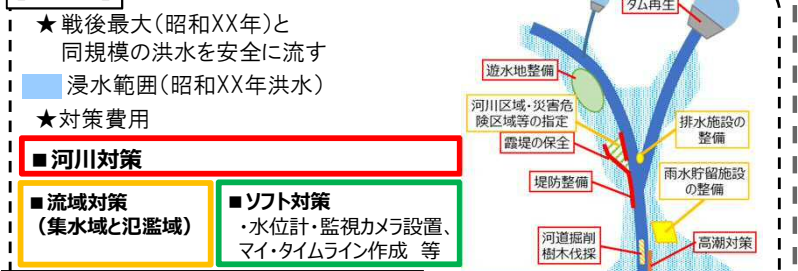
グリーンインフラの活用  
自然環境が有する多様な機能を活用し、雨水の貯留・浸透を促進  
雨庭の整備 (京都市)



## 流域治水プロジェクト

- 全国の1級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- ・戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容※等をベースに、夏頃までに関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、早急に実施すべき流域治水プロジェクトを令和2年度中に策定

※現行計画では、国管理河川で約7兆円の事業を実施中



### 河川対策

- 流域対策 (集水域と氾濫域)
- ソフト対策
  - ・水位計・監視カメラ設置、マイタイムライン作成 等

### 利水ダムの治水活用

- ・ 全国の1級水系 (ダムがある99水系) 毎に事前放流等を含む治水協定を締結し、新たな運用を開始【令和2年出水期から】
- ・ 2級水系についても同様の取組を順次展開

### (今後の水害対策の進め方)

**1st** 近年、各河川で発生した洪水に対応  
 ・緊急治水対策プロジェクト(甚大な被害が発生した7水系)  
 ・流域治水プロジェクト(全国の1級水系において早急に実施すべき事前防災対策を加速化)  
 速やかに 気候変動を踏まえた河川整備計画等の見直し

**2nd** 気候変動の影響を反映した抜本的な治水対策を推進  
 ・治水計画の見直し  
 ・将来の降雨量増大に備えた対策



# あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換

## 対応

◆河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換することによって、施策や手段を充実し、それらを適切に組合せ、加速化させることによって効率的・効果的な安全度向上を実現する。

## 「流域治水」の具体例

### 河川・下水道管理者による対策

#### 堤防整備



#### ダム建設・ダム再生

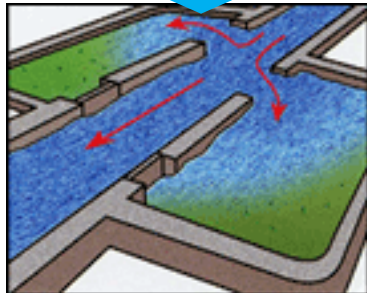


かさ上げイメージ

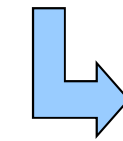
#### 遊水地



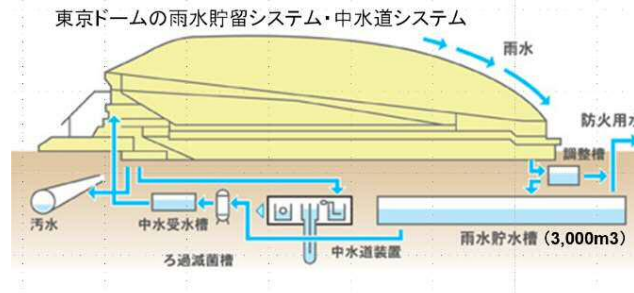
#### 大規模地下貯留施設(下水道)



#### 防災調整池

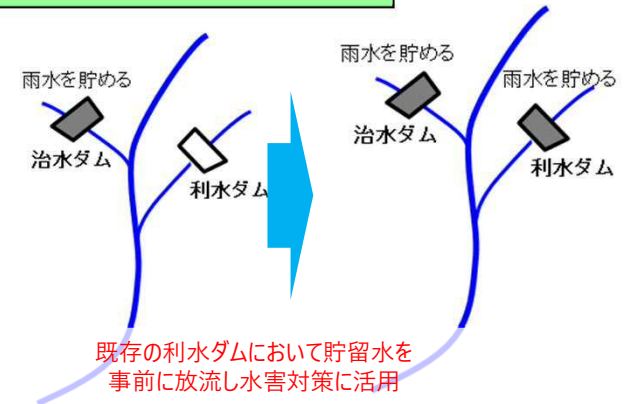


#### 公共施設地下貯留(東京ドーム)

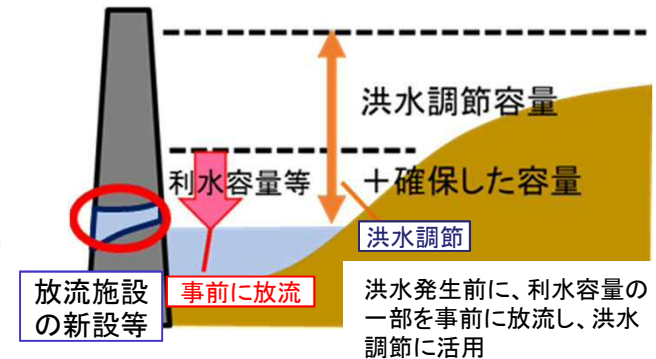


### 市町村や民間等による対策

#### 既存の利水ダムの治水活用



(既存ダムの活用例)



## 令和3年5月公布

### 背景・必要性

- 近年、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、全国各地で水災害が激甚化・頻発化
  - 気候変動の影響により、21世紀末には、全国平均で降雨量1.1倍、洪水発生頻度2倍になるとの試算(20世紀末比)
- 降雨量の増大等に対応し、ハード整備の加速化・充実や治水計画の見直しに加え、上流・下流や本川・支川の流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業・住民等、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の実効性を高める法的枠組み「**流域治水関連法**」を整備する必要

### 法律の概要

#### 1. 流域治水の計画・体制の強化 【特定都市河川法】

- ◆ **流域水害対策計画を活用する河川の拡大**
  - 市街化の進展により河川整備で被害防止が困難な河川に加え、**自然的条件**により困難な河川を**対象に追加**(全国の河川に拡大)
- ◆ **流域水害対策に係る協議会の創設と計画の充実**
  - 国、都道府県、市町村等の**関係者が一堂に会し**、官民による**雨水貯留浸透対策の強化**、浸水エリアの**土地利用**等を協議
  - 協議結果を流域水害対策計画に位置付け、確実に実施

#### 2. 氾濫をできるだけ防ぐための対策 【河川法、下水道法、特定都市河川法、都市計画法、都市緑地法】

- ◆ **河川・下水道における対策の強化** ◎ 堤防整備等の**ハード対策を更に推進**(予算)
  - 利水ダム等の事前放流**に係る協議会(河川管理者、電力会社等の利水者等が参画)制度の創設
  - 下水道で浸水被害を防ぐべき**目標降雨**を計画に位置付け、整備を加速
  - 下水道の**樋門等の操作ルール**の策定を義務付け、河川等から市街地への逆流等を確実に防止
- ◆ **流域における雨水貯留対策の強化**
  - 貯留機能保全区域**を創設し、沿川の保水・遊水機能を有する土地を確保
  - 都市部の緑地**を保全し、貯留浸透機能を有するグリーンインフラとして活用
  - 認定制度、補助、税制特例**により、自治体・民間の雨水貯留浸透施設の整備を支援 (※予算関連・税制)

#### 3. 被害対象を減少させるための対策 【特定都市河川法、都市計画法、防災集団移転特別措置法、建築基準法】

- ◆ **水防災に対応したまちづくりとの連携、住まい方の工夫**
  - 浸水被害防止区域**を創設し、住宅や要配慮者施設等の安全性を事前確認(許可制)
  - 防災集団移転促進事業のエリア要件の拡充**等により、危険エリアからの移転を促進 (※予算関連)
  - 災害時の避難先となる拠点の整備**や**地区単位の浸水対策**により、市街地の安全性を強化 (※予算関連)

#### 4. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 【水防法、土砂災害防止法、河川法】

- 洪水等に対応した**ハザードマップ**の作成を**中小河川等まで拡大**し、リスク情報空白域を解消
- 要配慮者利用施設に係る**避難計画・訓練**に対する**市町村の助言・勧告**によって、避難の実効性確保
- 国土交通大臣による権限代行の対象を拡大し、災害で堆積した**土砂の撤去**、**準用河川**を追加

流域治水のイメージ

【**目標・効果**】気候変動による降雨量の増加に対応した流域治水の実現 (KPI) ○浸水想定区域を設定する河川数:2,092河川(2020年度)⇒約17,000河川(2025年度)

# 芦田川流域治水協議会の設立

芦田川水系流域治水プロジェクトは、流域に関わる福山市、府中市、世羅町、広島県、農林水産省、林野庁、森林研究・整備機構、国土交通省からなる協議会を令和2年度に設立し、流域全体で水害を軽減させる取り組みを推進している。





## 芦田川水系流域治水プロジェクト

芦田川水系の  
河川整備対策を記載



河道掘削  
堤防整備  
堤防強化など

### 河川における対策

**芦田川水系河川整備計画(国)**

国管理区間の河川整備

**芦田川上流ブロック河川整備計画(県)**

県管理(支川等)上流域の河川整備

**芦田川下流ブロック河川整備計画(県)**

県管理(支川等)下流域の河川整備

### 流域における対策

芦田川流域の  
ハード対策を記載



雨水貯留施設  
排水施設整備  
下水道整備など

**福山市域における浸水対策協議会(国・県・市・土地改良区)**

H30.7豪雨被害を受けての福山市内浸水対策 ※ソフト対策も含む

**府中市浸水対策検討委員会(国・県・市・学識者・住民)**

H30.7豪雨被害を受けての府中市内浸水対策

その他にも自治体の雨水流出抑制、土地利用・  
住まい方、内水対策などの取り組み計画を記載

### ソフト対策

芦田川流域の  
ソフト対策を記載



情報伝達  
避難計画  
水防活動など

**芦田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国・県・市)**

芦田川流域の洪水氾濫に対する整備・避難対策等

**広島県管理河川大規模氾濫時の減災対策協議会(国・県・市)**

広島県管理河川の洪水氾濫に対する整備・避難対策等



R2.7.31

芦田川流域治水協議会 設立

・協議会の設立

R2.9.30

第1回 芦田川流域治水協議会

・プロジェクト公表に向けてとりまとめ内容協議  
(  
県管理区間の河川対策を追加  
流域自治体の対策内容を追加  
各機関のソフト対策項目を整理  
)

R3.3.24

第2回 芦田川流域治水協議会

・流域治水プロジェクトの公表内容を協議  
(関係者の対策内容・ロードマップの追加)

R4.3.16

第3回 芦田川流域治水協議会

・令和3年度 流域治水プロジェクトの内容を協議  
(  
各機関の対策内容を時点修正  
各機関の取り組み状況を共有  
グリーンインフラの追記  
直轄河川対策事業の整備効果を追加  
)

R5.6.9

第4回 芦田川流域治水協議会

・令和4年度 流域治水プロジェクトの内容を協議  
(  
各機関の対策内容を時点修正  
各機関の取り組み状況を共有  
)



R6年度以降

第5回 芦田川流域治水協議会

・令和5年度 流域治水プロジェクトの内容を協議  
（各機関の対策内容を時点修正  
各機関の取り組み状況を共有）